11.警報器が作動したときは

煙を感知すると次のように音声警報「ピー、ヒュー、ヒュー、火事です 火事です」と警報灯(赤色)でお知らせします。

■火災のとき
　火元を確認し、避難してください。
　119番へ連絡するなど適切な処置をしてください。

■火災でないとき
　火災以外でも、次のような場合、警報をすることがあります。警報停止ボタンを押すか、室内を換気すると警報が止まりますので、警報器を外したり、電池を抜いたりしないでください。

・スプレー式殺虫剤や、ヘアスプレーなどが直接かかったとき。
・たばこの煙を警報器に吹きかけたとき。
・調理の煙や水蒸気などが警報器にかかったとき。
・線香や蚊取り線香などの煙を発生させたとき。

注 意	
	音声警報が鳴動したとき、電池を外さないでください。 警報停止ボタンを押すと、音声警報は止まります。 感知部に煙が残っている場合は約５分後に再び音声警報が鳴ります。換気などを行うことにより音声警報は自動的に止まります。

12.音声警報の停止方法

■音声警報が「ピー、ヒュー、ヒュー、火事です。火事です。」と鳴動しているとき
　警報停止ボタンを押してください。
　約５分間音声警報が停止します。約５分後に再度音声警報が鳴動する場合は、うちわなどで煙流入口に風を送り、煙を感知部から排除してください。

■音声警報が「ピ、（電池切れです。）」または「ピピピ、（異常です。）」と鳴動しているとき
　速やかに新しい警報器と交換してください。
　(電池切れ警報時は電池交換も可能です。)
　音を止めたいときは、警報停止ボタンを押してください。
　約24時間音声警報が停止しますが、その間は警報灯が約10秒間隔で１回または３回点滅します。

警 告	
	音声警報は電池コネクタを抜くことによっても止まりますが、コネクタを抜いた状態の警報器は絶対に取り付けないでください。火災の感知ができなくなります。

13.仕　　様

商品名	KK－DS22－10V		
種別	住宅用防災警報器 煙式（光電式　2種）	機器交換の目安	約10年※
		警報音量	1mにて70dB以上
鑑定型式番号	鑑住第１９～７５号	外形寸法	φ98mm×43mm
定格	DC3V　300mA	質量	約130g(電池含む)
電源	専用リチウム電池 （下記いずれか） ・CR17450E-R-CN10 ・CR17450E-N-CN10 ・CR17450WK21	使用温度範囲	0℃～40℃ (結露しないこと)

※ 機器交換の目安は、使用温度や埃などの外部環境や使用条件によって短くなることがあります。

14.故障かな？と思ったら

警報器の症状とその原因、対処について下表に示します。下記の対処を行っても直らない場合は、お買い上げの販売店までご連絡ください。

症　状	原　因	対　処
■何も操作していないときに・・・		
火災でないのに「ピー、ヒュー、ヒュー、火事です。火事です。」と鳴り、警報灯が点灯。	火災以外の煙（埃、殺虫剤など）を警報器がキャッチしています。	警報停止ボタンを押すか、警報器内の煙がなくなるまでお待ちください。また、火災以外で音声警報が多発する場合は、取付場所を変えてください。
約１分間隔で「ピ」と鳴り、警報灯が１回点滅。	機器交換の目安（電池寿命）です。	新しい警報器または電池と交換してください。
約１分間隔で「ピピピ」と鳴り、警報灯が３回点滅。	センサの感度が劣化しています。	新しい警報器と交換してください。
■テストをしたとき（ボタンを押したとき）に･･･		
何も音が鳴らない。	電池の未接続が考えられます。	電池コネクタが正しく接続されているか確認してください。
	警報器の故障か電池寿命が考えられます。	新しい警報器または電池と交換してください。
「ピピ、ピ、電池切れです。」と鳴り、警報灯が１回点滅。	機器交換の目安（電池寿命）です。	
「ピピ、ピピピ、異常です。」と鳴り、警報灯が３回点滅。	センサの感度が劣化しています。	新しい警報器と交換してください。
「ピピ」と鳴る。	火災警報を停止中です。	約５分間経過の後、再度テストをおこなってください。

15.警報器の廃棄について

本警報器を廃棄する際は、市町村によって定められたルールにしたがってください。（電池はリチウム一次電池を使用しており、水銀は含まれていません。）

16.アフターサービスについて

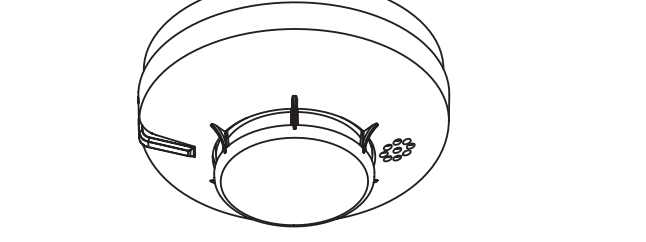
1.この商品には保証書がついています。お買い上げの販売店で所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
2.保証期間は、お買い上げ日より１ヶ年です。万一故障した場合は、機器を分解せずにお買い上げの販売店にお申しつけください。保証規定により対処いたします。
3.アフターサービスについてご不明な点、およびその他お問い合わせは、お客様ご相談ダイヤル、またはお買い上げの販売店にご連絡ください。

17.保証規定

1.保証期間は、お買い上げ日から１ヶ年といたします。
2.通常のお取り扱いにおいて、保証期間内に万一故障した場合の交換は無償でいたします。
3.保証期間内においても、次のような場合は料金をいただきます。
　イ）お取り扱い上の誤りによる故障または損傷
　ロ）不適当な改造や修理による故障または損傷
　ハ）お引渡後の輸送、移動、衝撃による故障または損傷
　ニ）水害、地震、落雷など天災による障害
　ホ）保証書を紛失またはご提示のない場合
　ヘ）保証書の所定事項の記載もれ、または字句を書き替えられた場合

TN51228◎

取 扱 説 明 書

住宅用火災警報器
（煙式、自動試験機能付）

KK-DS22-10V

（電池式、10年タイプ）

お買い上げいただきありがとうございます。
ご使用にあたりましては、必ずこの「取扱説明書」をお読みいただき、正しくご愛用のほどお願いいたします。なお本取扱説明書はいつでもお読みいただけるところに大切に保管してください。
この取扱説明書は保証書をかねています。

保　証　書

製品記号	KK－DS22－10V
保証期間	１年間
お買い上げ日	年　　月　　日
お客様	ご住所
	お名前　　　　　　　　様
	電話
販売店	住所・店名
	電話

MAX マックス株式会社
本社　〒103-8502 東京都中央区日本橋箱崎町6-6
■東　京　TEL (03)-3669-8123（代）■大　阪　TEL (06)-4803-1536（代）
■名古屋　TEL (052)-935-8531（代）■福　岡　TEL (092)-411-5418（代）
■広　島　TEL (082)-291-6331（代）■札　幌　TEL (011)-261-7141（代）
■仙　台　TEL (022)-236-4121（代）
お客様ご相談ダイヤル 0120-228-481
月～金曜日　午前９時～午後６時
●ホームページアドレス： http://www.max-ltd.co.jp

1.ご使用になる前に

・この商品は、火災の煙をキャッチして音声警報で知らせる住宅用火災警報器です。
・この警報器は日本消防検定協会の試験に合格した鑑定品です。
　（消防法に規定された「自動火災報知設備」には代用できません。）
・お取り付けいただいた部屋、廊下などの部分的な警戒になりますので、万一の火災に対してより効果を発揮させるためには必要に応じて、複数の場所にお取り付けいただくことをおすすめします。
・本警報器を正しくお使いいただくために、この取扱説明書にはいろいろな注意事項を記載しています。注意事項の表示は以下のようになっていますので、内容をよく理解してから本文をお読みください。

警 告	
	【安全上の注意】 取り扱いを誤った場合に、取扱関係者が重傷または軽傷を負う危険な状態が生じることが想定される場合、または警報機能の一部に重大な悪影響を及ぼす可能性がある場合。
注 意	
	【安全上の注意】 取り扱いを誤った場合に、取扱関係者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定される場合、または警報機能に悪影響を及ぼす可能性がある場合。

2.ご使用上の注意

本警報器は火災で発生する煙をキャッチして音声警報で知らせるもので、消火装置や火災防止器ではありません。火災などによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。

⚠ 警　告
本警報器は絶対に分解・改造・針金など異物の挿入はしないでください。また、落下などにより衝撃を与えた機器は使用しないでください。
本警報器は設置場所の煙をキャッチして、音声警報を発します。 日頃、人のいない部屋に設置する場合は音声警報が聞こえることを確認のうえ設置してください。また、次のような場合は音声警報に気付かないことがありますので注意してください。 ・薬を服用後または飲酒後に就寝した場合。 ・就寝部屋以外で警報器が作動した場合。 ・交通、ステレオ、ラジオ、エアコンなどの騒音が大きい場合。
本警報器は直接煙が入らない場合は作動しません。また、次のような火災では作動しないことがありますので注意してください。 ・火のまわりの早い火災 ・煙の発生しない火災 ・ガス漏れや薬品による爆発的な火災

⚠ 注　意
本警報器は屋内型ですので、屋外での使用はおやめください。
電池がなくなった時は音声警報は鳴りませんので注意してください。
くん煙式の殺虫剤など、多量のガスが発生する薬品を使用する場合は、誤報や電池の消耗につながるため、警報器を取り外し殺虫剤がかからない場所に置いてください。 使用後、換気をして必ず元の状態に戻してください。
殺虫剤や化粧のスプレー、煙草の煙を警報器に直接かけないでください。誤報の原因になります。
コンロの近くなど、台所や居室で油煙が発生する場所には取り付けないでください。誤報の原因になります。
警報器に耳を近づけて音声警報を聞かないでください。 聴力障害などの原因となる恐れがあります。

3.特　　長

本警報器は、初期火災で発生する煙をキャッチし、音声警報でお知らせする住宅用火災警報器です。火災発生の時には「ピー、ヒュー、ヒュー火事です。火事です。」という音声警報で火災の危険をお知らせします。

■警報器の機器交換の目安は約10年

本警報器は電池で動いています。約10年間の機器交換の目安まで電池交換なしでご利用いただけます。電池寿命が近づくと、約１分間隔で「ピ」と鳴り、警報灯が１回点滅し、警報器の交換時期をお知らせします。また、約30分に1回「ピ、電池切れです。」という音声警報が鳴ります。

音を止めたいときは、警報停止ボタンを押すと、約２４時間音声警報が停止します。
(音声警報停止中は警報灯が約10秒間隔で1回点滅します。)

注 意	
	機器交換の目安を越えて使用すると、汚れなどにより内部に煙が流入しにくくなり、火災の感知が遅れる可能性があります。10年を経過した警報器は、速やかに新しい警報器と交換してください。
注 意	
	警報音が約１分間隔で「ピ」と鳴り、警報灯が1回点滅したら、機器交換の目安（電池寿命）です。販売店にご連絡のうえ、速やかに新しい警報器または電池と交換してください。火災の感知ができなくなる場合があります。

※警報器の交換の目安は約10年ですが、使用温度やホコリなどの使用環境や使用条件によって短くなる場合があります。

■警報器は自動試験機能を有しています

本警報器は、センサの感度が劣化して正常に煙を監視できなくなった場合、自動的に異常をお知らせする、自動試験機能を有しています。異常を検出すると、約１分間隔で「ピピピ」と鳴り、警報灯が３回点滅します。また、約30分に1回「ピピピ、異常です。」という音声警報が鳴ります。

音を止めたいときは、警報停止ボタンを押すと、約２４時間音声警報が停止します。
(音声警報停止中は警報灯が約10秒間隔で３回点滅します。)

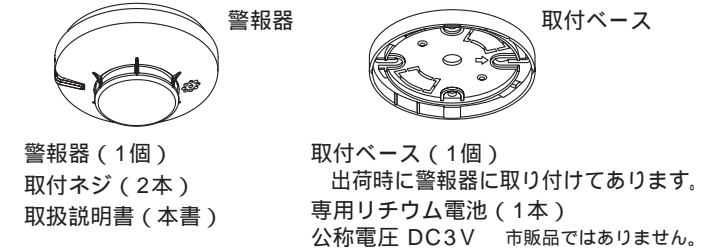
注 意	
	警報音が約１分間隔で「ピピピ」と鳴り、警報灯が3回点滅したら、センサの感度が劣化しています。販売店にご連絡のうえ、速やかに新しい警報器と交換してください。火災の感知が遅れる場合があります。

4.商品のご確認

次のものが揃っていることを確認してください。

警報器

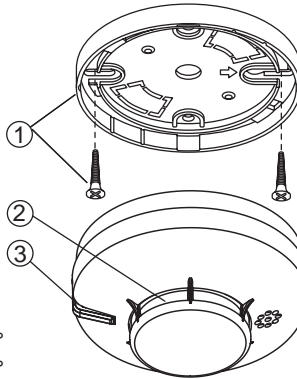
取付ベース

①警報器（1個）
②取付ネジ（2本）
③取扱説明書（本書）
④取付ベース（1個）
※出荷時に警報器に取り付けてあります。
⑤専用リチウム電池（1本）
公称電圧 DC3V ※市販品ではありません。

5.各部の名称と働き

①取付ベース、取付ネジ
警報器を天井または壁に取り付けるために使用します。

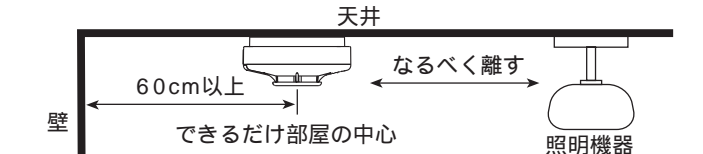
②煙流入口
ここに煙が入ることにより警報器が煙を感知します。

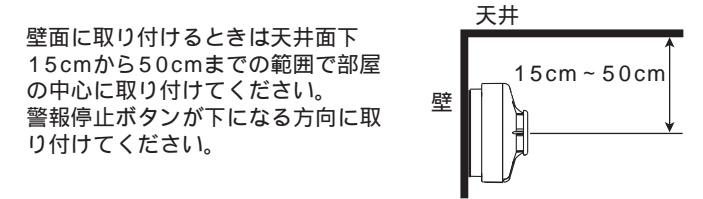
③警報停止ボタン兼警報灯
（テストボタン兼用）

・音声警報を止めたいとき：
→ボタンを押してください。
・テストをしたいとき：
→ボタンを押してください。
音声警報により状態をお知らせします。
・警報時、赤色に点灯または点滅します。

6.警報器の取付場所

■本警報器は次のような場所への設置をおすすめします。
・寝室
・階段や廊下、居室、台所

■警報器の警報停止ボタンが操作しやすい位置に取り付けてください。

■天井面に取り付ける場合は壁や角から水平距離60cm以上離します。

■換気口やエアコンの吹き出し口から1.5m以上離してください。

■壁面に取り付けるときは天井面下15cmから50cmまでの範囲で部屋の中心に取り付けてください。
警報停止ボタンが下になる方向に取り付けてください。

注 意	
	警報器は必ず正しい取付場所に取り付けてください。次のような場所に取り付けた場合、誤作動の原因および正常に火災を警報できない可能性があります。

次のような場所には取り付けないでください。

暖房器具の近くなど、燃焼性粒子の発生する場所 水蒸気が発生する場所

浴室など、水がかかる場所や、常時温度や湿度が高い場所

空気の流れが激しい場所
・換気扇や扇風機、エアコンの近く
・すきま風の強い所

ガレージ、調理場などの、火災でない煙、蒸気などがかかる場所

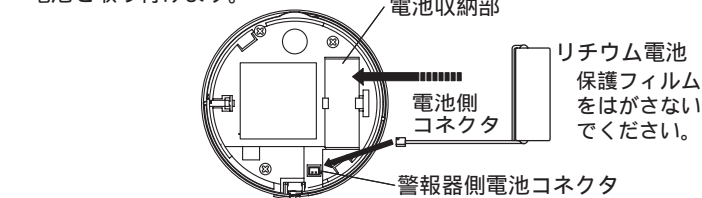
ほこりや虫の多い場所

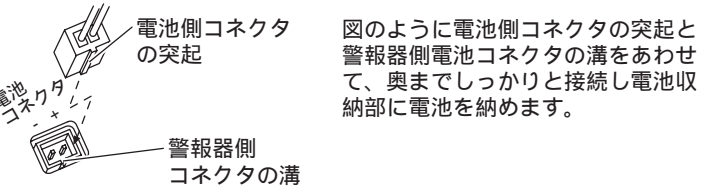
吊り下げ式の照明やタンスの真上

・警報器は0℃〜40℃の温度範囲内で結露しない場所に取り付けてください。

7.警報器を取り付ける前に

■警報器と取付ベースを外します。
・取付ベースを押さえ、警報器を左に回して取り外してください。

■電池を取り付けます。

・電池側コネクタと警報器側電池コネクタを接続してください。(極性注意)
・警報器の裏面にある電池収納部に電池を納めてください。このとき、電線を電池と収納部の間に挟まないようにしてください。警報器が取付ベースに取り付けられなくなります。

図のように電池側コネクタの突起と警報器側電池コネクタの溝をあわせて、奥までしっかりと接続し電池収納部に電池を納めます。

警 告	
	電池は必ず指定のものをお使いください。(指定以外のものを使用すると、故障の原因になります)
警 告	
	コネクタを奥までしっかりと接続し、電池を正しく収納してください。正しく接続されていない場合、警報器が作動せず、音声警報が鳴りません。〔電池を取り付けた後、必ずテストボタンを押して作動確認を行ってください。なお、電池取り付け後、約３秒間は作動しません。〕

8.警報器の取付方法

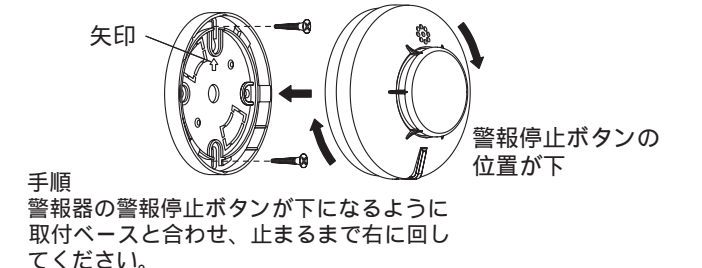
次の手順にしたがって警報器を取り付けてください。

警 告	
	警報器の取り付けは、安定した台に乗って作業を行ってください。転倒してけがをする可能性があります。

■設置年月を記入してください
警報器本体の側面に、設置年月を記入してください。

■天井に取り付けるとき
手順①
天井面の梁などが通っている場所に、取付ネジで取付ベースをしっかり固定してください。
手順②
警報器の底面部を取付ベースに当て、警報器が止まるまで右に回してください。

■壁に取り付けるとき
手順①
壁面の柱などが通っている場所に、向きを間違えないように（矢印を上にする）取付ベースを取付ネジで取付ベースをしっかりと固定してください。

手順②
警報器の警報停止ボタンが下になるように取付ベースと合わせ、止まるまで右に回してください。

■壁に掛けて取り付けるとき
手順①
警報器と取付ベースを取り付けます。
（製品出荷時は取り付けてあります。）
手順②
取付ネジを壁の途中までねじ込んでください。
（ネジ頭と壁の間が2〜5mmの範囲になるまでねじ込んでください。）
手順③
取付ベース背面にある取付穴に、ネジ頭を引っかけてください。

注 意	
	取り付け後は必ずテストを行ってください。テスト方法については、「10．テスト方法」の項目をご参照ください。

9.お手入れ方法

・毎年１度は、中性洗剤を浸して十分に絞った布で警報器の汚れを拭き取ってください。この際、煙流入口に触れないように注意してください。
なお、煙流入口に著しい汚れが付着している場合は、火災を感知できない恐れがありますので、機器を交換してください。

警 告	
	警報器を水洗いしないでください。また、ベンジンやシンナーを使用しないでください。故障の原因になります。
警 告	
	警報器を改造、分解しないでください。警報器は精密に調整されていますので、正常に作動しなくなる恐れがあります。

10.テスト方法

取り付け後は定期的に(１ヶ月に１度) または、３日以上留守にされたときは、テストボタンを押して、警報器が正常に作動するかテストしてください。
テストの結果は、音声警報と警報灯で判断できます。
・「ピピ、ピー、ヒュー、ヒュー、火事です。火事です。」と鳴り、警報灯が点灯
⇒警報器は正常に監視しています。
・「ピピ、ピ、電池切れです。」と鳴り、警報灯が１回点滅
⇒機器交換の目安（電池寿命）です。警報器または電池を交換してください。
・「ピピ、ピピピ、異常です。」と鳴り、警報灯が３回点滅
⇒センサの感度が劣化しています。警報器を交換してください。

■テストボタンを押しても何も音が鳴らない場合は、電池の未接続、電池寿命、または警報器の故障が考えられます。
「14．故障かな？と思ったら」の項目をご参照ください。

■煙を直接入れて試験を行い、警報停止ボタンにより音声警報を停止したときは、約５分間テストができなくなります。

警 告	
	・テストのとき、決してライターなどの炎を使用しないでください。警報器を壊すばかりでなく、火災の原因になります。 ・テストボタンを押すときは、安定した台に乗っておこなってください。転倒してけがをする可能性があります。